

モネの池、はもみん描いたテーブルセット

山下清司市長に目録を手渡した石神靖也常務理事(右から3人目)ら＝関市南春日町、濃州関所茶屋



岐阜信金100周年 関市に寄贈

地元企業、高校生らと製作

岐阜信用金庫は19日、創立100周年を記念した地域貢献活動として、関市の

インを取り入れたテーブル1卓と椅子4脚の3点を同市に寄贈した。テーブルなどを設置した同市南春日町の濃州関所茶屋で贈呈式があった。

同金庫は店舗のある岐阜、愛知両県の27市町に物品を寄贈しており、今回が最後。関市には三つの支店がある。

同校機械科3年生が製作に携わり、テーブルは、市内の観光地「名もなき池」(通称モネの池)をイメージしてコイやハスの花などを、椅子には市イメーজキャラクター「関*はもみん」を描いた。

贈呈式には関係者や生徒ら約40人が出席。同金庫の石神靖也常務理事が「地元企業と関商工高校、市、わ

れわれの4者で立派な寄贈ができて喜んで」と、山下清司市長に目録を手渡した。山下市長は「いただいた品で皆さんにくつろい

でほしい」と感謝。同校の代表生徒が「地元の観光スポットの魅力を高めたい」と思い取り組んだと話した。(高橋友基)